

株式会社ダイテック



チタンや Hastelloy など特殊材溶接技術で半導体・医薬品分野に多数の実績
クリーンエネルギー事業にも注力

想定分野 電気系統 ▶ 水素吸蔵合金タンク



特殊材の溶接及びサニタリー配管製造、溶接、ユニット組立

安全面や衛生面で高い基準を求められる医薬品・食品・化粧品関連プラント向けサニタリー配管の製造及び関連プラントの組立・現地据付工事、半導体向けガス配管、真空配管、高圧配管、チタン製部品、水素関連、ステンレス・鉄・アルミ及び一般配管などの製造まで幅広く手がける。これまで培ってきた職人の技術・知識・経験・最新鋭の設備を活かし、営業から出図・加工・溶接・検査・納品・据付・メンテナンスまで一貫して取り組むことで、他社ではできない高度なもののづくりにも挑み続けている。

プレハブ配管(特許第7130253 特許取得済)、サニタリー配管から二重管まで実績豊富、産学連携:愛媛大学との大気混入シールドガス(共同特許取得済 特許第7301296)、プラスト機:最大ワーク1200×1200×高さ600まで対応、バフ研磨:ステンレス製品を内外面#100~#600仕上げまで柔軟に対応



水素吸蔵合金タンク

カーボンニュートラル社会の普及拡大に伴い、再生可能エネルギーの電気系統不安定性により出力制御が起り、大量の余剰電力が発生している。この余剰電力を生かすため、那須電機鉄工社は、ナノ化鉄チタン水素吸蔵合金を開発し、この合金を用いたタンク(MHタンク)を開発、製品化。ダイテックはこのMHタンク缶体部の製造を担っている。**水素吸蔵合金タンクは、市販の水素ボンベ(水素貯蔵量:7m³)よりも多い8m³の水素ガスを、10気圧以下の低圧でしかも安全にコンパクトに貯蔵することが可能。**風力・太陽光などによる再生可能エネルギーの余剰電力を活用して水素を製造し、貯蔵する用途として想定している。

製品名:水素吸蔵合金タンク(MH TANK)、水素貯蔵量に応じて、タンクを複数組み込んだ「空温式水素吸蔵合金システム(MH-QUONクーオン)」を提供※QUON・MH TANKは那須電機鉄工株式会社の製品、基本性能:直径165mm、高さ1500mm、重量125kg、圧力10気圧、内容積27.5L、水素流量 吸蔵8L/分、放出8L/分

採用実績・施工例

水素デリバリーシステムのイベント出展



水素吸蔵合金タンクの技術を生かし那須電機鉄工、三菱化工機、日本フィルコンと共同で水素吸蔵合金配送システムの実証実験を各地で実施している。より身近に感じてもらうため、クラフトビールフェアなどのイベントにも積極参加。水素吸蔵合金システムを出展し、電気を供給している。

半導体製造工場用配管の溶接・組立



半導体製造プロセスの装置に欠かせない高純度ガスの供給は、半導体をはじめとしたIT機器の製造にとって生命線といえる。同社では防塵レベルのクリーンルーム(左写真)を備え、製造工程におけるパーティクル発生を徹底的に抑制。安全で信頼性の高い高純度ガス配管を提供している。

主要設備機械

- 各種工場(切断、溶接、加工、溶接、洗浄、天井クレーン):西条市内4か所、栃木県内1か所
- クリーンルーム完備工場:西条市内3か所 ●各種倉庫、作業所:西条市内5か所
- Tig溶接機、CS溶接機、ポリスード自動溶接機、ポジションナー
- チューブ用自動溶接機、チューブカッター、Heリークディテクター
- バンドソー、メタルソー ●NCベンダー、プラスト機
- ポール盤、汎用旋盤、石定番 ●超音波洗浄機、焼け取り機、ターニングロール

会社情報

事業内容/金属加工業
所在地/〒793-0046 愛媛県西条市港字北新地462-4
設立/2007年4月 資本金/2,500万円 従業員/64名
代表者/代表取締役 清水 大吾 TEL/0897-66-7800
事務所/西条市
首都圏担当/日野 照久
E-mail/t-hino@daitec-mail.com
URL/https://www.daitec-co.com